

2023年度の事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 happiness

1 事業の成果

- (1) 子ども支援向上のため、職員研修は6回開催しました。京都市内の他の団体と合同にて実施することで、横の連携づくりにも生かすことができました。ボランティア向けの研修については実施できませんでした。体験の提供については地域や企業などさまざまな関わりと協力の上でいくつもの機会の創出ができました。子どもたちだけでなく子育てしやすい社会づくりに向け多様な関係者の協力を得ることができました。
- (2) NPOにまつわるイベントや相談会など、延べ20回以上の機会を実施できました。
- (3) フードパントリーの開催は年末に一度と、毎週の子ども食堂にて実施していたが、支援希望者の新規開拓まで繋がれず、アウトリーチの方法を再度検討し直すことが必要でした。
- (4) 自立援助ホームについては京都市との交渉も順調に進み、来年度から事業スタートをするべく、人員の確保や定款の変更など着実に進んでいる。
- (5) カフェでの就労体験の受け入れは今年度は6名の参加があり、そのうち1名の方には直接雇用について前向きに検討を行ったが、継続には至らなかった。今後も積極的な受け入れを実施していきたいと考えています。
- (6) 新たな子ども食堂の立ち上げは1箇所にとどまったが、従来の子ども食堂はそれぞれNPO設立を目指すことを視野に入れ活動を継続されている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
子ども支援活動及び教育事業	①ハピネス子ども食堂の運営・学習支援・体験活動の提供	(A) ハピネス子ども食堂・学習支援 毎週月・水曜日17:00～20:00 土曜日(不定期)17:00～20:00 体験活動 不定期開催 (B) 月・水曜日 4-5月唐橋文化教育会館 6月以降「and happiness.」 土曜日「happiness*café」 体験活動場所(不定) (C)970名(ボランティア含む)	(D)南区とその周辺に居住する小中学生とその保護者 (E)延べ3747名	10,479
	②子どもチケットの管理運営	(A)通年 (B)京都市南区 (C)1名	(D)南区の子ども食堂を利用する小学生から18歳までの子ども (E)450人	
	③子ども支援活動に関する情報収集及び情報提供	(A)通年 (B)SNSやHPなどオンライン上 (C)3名	(D)子ども支援に関する活動に関心のあるたち (E)5000人	

生活・居住支援事業	①生活支援に必要な物品及び場所の提供	(A)適時 (B)京都市南区 (C)5名	(D)困窮状態にある世帯 (E)延べ60世帯	14,464
	②住宅確保要配慮者への生活・居住支援業務	(A) 通年 (B) 京都市南区 (C)3名	(D)住宅確保要配慮者 (E)15名	
	③生活支援をする団体及び個人への研修	(A)通年 (B)京都市 (C)2名	(D)京都市内の少女支援をしている団体 (E)15団体	
	④自立援助ホームの運営	(A) 2024年度開始に向け1月より交渉開始 (B)京都市南区 (C)2名	(D)保護者に頼ることができない15歳から30歳までの女性 (E)9名	
就労体験・職業訓練による就労支援事業	①andhappiness.での就労体験の受け入れ	(A) 通年 (B) and happiness. (C) 5名	(D)元引きこもり状態にあるなど課題を抱えた若者 (E)7名	12,298
	②まちライブラリー等の運営	(A)通年 (B)and happiness. (C)5名	(D)近隣に在住の方 (E)105名	
	③各種イベント等の運営	(A)通年 (B)and happiness. (C)5名	(D)子どもから高齢者までの幅広い世代 (E) 300名	
コンサルティング事業	子ども支援活動及び生活支援をする団体及び個人への研修	(A)必要に応じて適時 (B)依頼場所に出張もしくは当団体の活動場所 (C)1名	(D)京都府内の希望する団体、個人 (E)16団体合計20回	6

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。